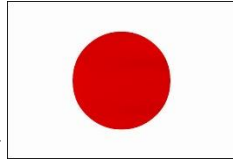




ナミビア通信

～のんびり(Nombili)～



青年海外協力隊
岩塚善哉
December. 2019 No.15

2019年も残すところわずかとなりました。ナミビアでは1月から学校が始まるため、例年12月が学年末になります。学年末には、進級試験があり生徒たちは試験勉強に励んでいます。また、クリスマスの装飾を見かけるようになってきました。首都ウィントフックでは、大きなショッピングモールがあり、クリスマスツリーが飾られていました。私の住む町とは雰囲気が大きく異なります。

ナミビアの家畜について

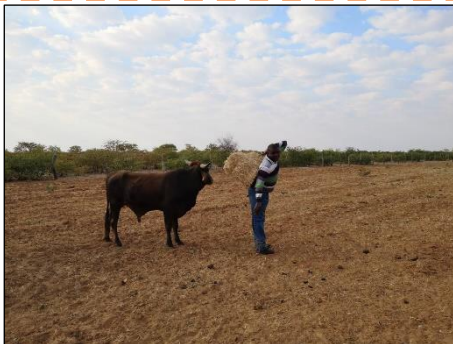
私と一緒に住むルームメイトは、少し離れたところに大きな農場をもっています。私の地域オカハオでは、多くの人が農場をもっています。

広大な土地で、ウシやニワトリ、ヤギなどを飼育しています。特にウシは、人々にとって大切な財産となります。また、放牧のスタイルで飼育をしていることもあり、家の周りに牛やヤギがよく歩いています。また、ウズラは室内での飼育が必要ということで、家の中でひなを育てています。水をやったり、えさをやったりしています。

まれにゾウが農場を通ることがあり、柵を壊してしまうこともあると言います。ゾウが通過したときは、フンを収集します。ゾウのフンはバクテリアがなく、全く臭くありません。乾燥させて火をつけると、その煙には防虫効果、痛み止めの効果、そして鼻の通りの改善があると言い、伝統的な医療として昔から使用されています。



首都ウィントフック
クリスマスツリー



広大な土地でウシやヤギなどを
育てるルームメイト



家の一角で育てている
ウズラのひな



家に並べられた大きな
アフリカゾウのフン

タイ王国からのお便り 「様々なボランティアが活動しています」

青年海外協力隊として、名古屋市から派遣されている佐藤先生（同期隊員）にお話を伺いました。12月10日は「世界人権の日」です。ナミビアでは祝日になります。タイでの活動内容を伺うと、知らないことが多く、「人権」について考えさせられました。「知ること」は学ぶことの一步として、とても大切なことだと思いました。



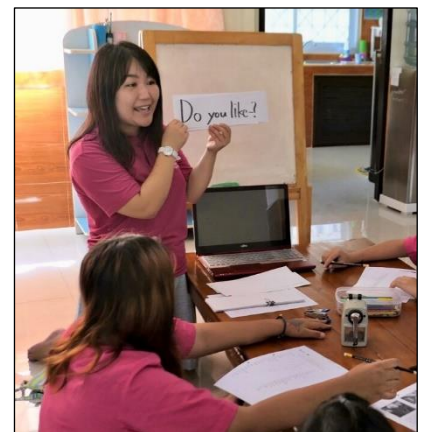
～名古屋市教員、タイ王国の協力隊員に聞きました～

佐藤仁美先生 青少年活動隊員（中学校英語科教員）

・タイの印象について教えてください。

優しい人が多くて、ご飯がとてもおいしい国です。争いやもめ事を好まず「和」を大切にするとところや、年上の人を敬うところは日本と似ています。

快適、元気という意味の「サバイ」というタイ語があります。タイの人はサバイが大好きで、何事も無理せず、マイペースに行うので、日常はゆったり、平和に過ぎていきます。



・職種(活動内容):「青少年活動」隊員

人身取引(人身売買)という言葉を知っていますか? 人身取引とは、甘い言葉でだまされたり、暴力を使ったりして、強制的に売春や労働をさせて利益を得る行為のことで「現代の奴隷制」ともいわれています。

私は、「コラート人身取引被害者保護福祉センター」で活動をしています。ここでは、人身取引の被害にあった12歳から18歳の少女たちに、衣食住や情緒安定プログラム、職業訓練の機会を提供しています。私は現在、英語や日本語、人身取引やHIV/AIDSに関する授業を行ったり、毎朝の掃除の指導を行ったりしています。授業以外の時間は、少女たちと遊んだり相談にのったり、できるだけ多くの時間を一緒に過ごしています。



日本語を教える佐藤先生

・なぜ青年海外協力隊に応募したのですか。

小学生の時、自分と同じくらいの年のエチオピアの子どもたちが、飢えに苦しんでいるのをテレビで見て衝撃を受け、その時から、海外で働くことが夢でした。大学の時、様々な社会問題について勉強し、一番興味をもったのが、人身取引でした。「何とかしたい!」という気持ちがありましたが問題が大き過ぎて、具体的に何をすればいいかわかりませんでした。しかし、少しでも教育を通して、サポートできるようになりたい、そんなふうに思い教員になりました。そして、教員として青年海外協力隊に応募ができると知り、様々な職種がある中、「人身取引被害者保護福祉センター」の文字があったとき、「これだ!」と思い、応募しました。

・活動で大変だったことを教えてください。

一度も学校に通ったことのない子どもたちに英語を教えたとき、最初は戸惑いました。ラオスという国の山奥にある農村出身の少女たちで、現地の言語を話すことができますが、読み書きはできません。公用語であるラオス語も、読み書きができません。「消しゴムって何?」そんなところからのスタートでした。そこで、ブタ、イヌ、ネコなどの農村にいそうな動物を折り紙で一緒に折って、動物の名前や色を勉強しました。その後、画用紙に動物を貼って、英語、日本語、ラオス語、タイ語でどう書くのかを勉強し、好きな絵を周りに描きました。完成したときの満足そうな表情は忘れられません。



彼女たちは、貧困であること、そして文字の読み書きができないことで、悪い人たちにだまされ、人身取引の被害にあってしまいました。彼女たちとの出会いを通して、改めて教育の大切さを痛感しました。

・中学生へのメッセージをお願いします。

自分の好きなこと、やりたいことを生涯をかけて探し続けてください。好きなことや将来の夢は、いくつあっても、何度変わってもかまいません。これから先、たくさんの困難や失敗を経験して、人間関係に悩むこともあると思います。そんなときも、自分の目標や好きなことを知っていたら、立ち直れます。目標は希望になるからです。そして、辛いときこそ、もう駄目だ!とは思わずに、そんな状況だからこそ学べることをたくさん学んでください。そこで学んだことが、その後の人生に必ず役立ちます。お互い頑張りましょう。



きれいな海には、
たくさんの魚が泳いでいる



毎年11月に行われるソウ祭り
(アジアソウ)



カンボジア「アンコールワット」のモ
テルと言われる「ピーマイ遺跡」